骨材情報紙
アグリゲイト

発行所 セメント新聞社
東京都中央区京橋3－12－7
電話 (03) 3535-0621㈹
FAX (03) 3535-5632
URL http://www.cement.co.jp/
購読料 1カ年 13,330円
©セメント新聞社 2018

ロッド、ライナー、打撃板
株式会社 藤崎興産
TEL03-3542-0761 FAX03-3546-1408
HP http://www.fujisakikosan.com
コーン、ジョー、ボールミル

砕石路盤材をRCと同じ位置づけに「リサイクル原則化ルール」見直しを

久保晋典 日砕協関西地方本部長 兵庫県砕石協組理事長 に聞く

日本砕石協会関西地方本部は砕石路盤材（クラッシャラン）の利用促進に向けた活動を行う。久保晋典関西地方本部長（兵庫県砕石事業協同組合理事長）と友田正敏専務理事は2月14日、国土交通省の公共事業企画調査課を訪問し、いわゆる〝リサイクル原則化ルール〟の見直しを訴えた。久保本部長に地方本部活動、兵庫県の砕石業界の概況を聞いた。

2月に国交省本庁へ要望

――リサイクル原則化ルール見直しの要望活動について。

「砕石路盤材の使用拡大ではなく、砕石路盤材を再生砕石（リサイクル材・RC）と同じ位置づけにすることが目的。現在、再生材は『経済性にかかわらず、原則として再生資源を利用する』そして『再生資材が新材に比べて品質が劣っていても適材適所で利用を促進』とされているのが実態であり16年度、17年度の建設資材対策近畿地方連絡会で提起するなど近畿地整に対して手段を尽くして要望してきた」

「昨年11月には近畿地方整備局の技術調整管理官、技術調査課長など8人の方に砕石工場（豊工業所・赤穂砕石所）を見学してもらった。クラッシャランを廃土石として堆積する現場を見てもらい、クラッシャランが骨材製造時に必然的に発生し、再生砕石と同様に余剰で使わざるを得ない実情を理解していただいた」

「近畿地整ではなく本省で対応すべき事案とされ、国交省本庁に要望窓口が変わったため『日本砕石協会』として公共事業企画調整課を訪問した。2月の面談で国交省の『建設リサイクル推進計画』においてリサイクルを原則化するような文言に配慮していただきたい旨を要望した。18年度に同計画の改定作業が予定され、なんとか内容に反映してもらいたいと考えている。具体的な成果に結実するように本庁への要望を重ねていく」

「最近、大阪府内の水道工事で品質管理の行き届かないRCを不正に使用した施工不良の問題が発生している。RCはコンクリートガラを原材料とし、バージン材に比べて細粒分が不足しやすく粒度管理に注意しなければならない。RCの品質検査や、六価クロムなどの有害物質を防ぐため水の近くでの使用を避けるなど用途規制も必要なのではないか」

――このほかの地区本部、組合の重点活動は。

「本部長在任中の使命として路盤材利用促進のほかに、近畿地区で現行5年の岩石採取計画認可申請期間の延長、脱水ケーキ問題に取り組む。認可期間延長については、県支部として兵庫県から〝採石法逐条解説〟を根拠にしているとの回答を得ており、仕切り直して要望を行っていく。脱水ケーキ問題は有効利用の促進と現行の法律上の解釈変更を求めていきたい。有効利用に向けて骨材資源工学会が活発に研究を進めており、和歌山工業高等専門学校の先生にも研究に関心を持ってもらっている」

「協組では地域貢献を通じて砕石業の社会的地位を向上するため、県との災害協定の締結を目指している。災害時に土のう等の資材や重機を提供するもので小委員会を発足し、内容を協議している。協定締結に向けた活動を通じて県の担当者と意思疎通を図ることで、認可期間の延長に向けた要望にもつなげていく」

――17暦年の兵庫県の砕石出荷量は873万㌧と前年比1割程度増加。

「ここ数年の減少が回復に転じ、新名神高速道路や北近畿豊岡自動車道等の大型道路工事向け出荷が寄与した。主要生産地の播磨西部の大阪湾岸や瀬戸内海向け出荷は事業所によるが、おおむね横ばいで砕砂の引き合いは増えているようだ。中長期的な骨材需要を見据えると2025年の大阪万博開催と統合型リゾート誘致による夢洲（ゆめしま）の開発は何としても実現してほしい」

――阪神地区で販売店（商社）主導による骨材価格の適正化の気運が高まっている。

「組合員各社は資機材価格や燃料代の高騰で収益が悪化しており経営環境は厳しい。採石山の開発など需要家の工場とは桁違いの莫大な投資費用もかかる。大阪府砂利石材協同組合（千石高史理事長）の価格適正化に向けた活発な活動に砕石メーカーとして積極的に協力していく。適正価格を勝ち取って組合員各社の山代（製品価格）や海・陸の運賃に反映していただきたい」

神奈川は大型物件偏在 東京のクラッシャン出荷好調

骨材会 京議 東協

首都圏に骨材を供給する生産、輸送、販売会社で組織する東京骨材協議会（髙尾茂会長）は2月23日、都内で17年度第11回定例会を開催し、骨材や再生砕石、主要ユーザーの生コンおよび合材の需給等を情報交換した。

1月の生コン出荷はまだら模様で東京湾岸や横須賀、千葉中央は増えたが、玉川や三多摩、東関東は減少。神奈川は、横浜のみなとみらい地区開発や相模原のリニア中央新幹線の立坑工事が着工中だが、大型物件が偏在して全体では伸び悩んでいる。合材出荷は東京湾岸地区を除き減少した。

砕石の出荷量は東京が前年同月比8％減。用途別で骨材の減少の半面でクラッシャランは好調。今年度10カ月累計で前年同期比12％増。埼玉は前年同月比4％減。外かく環状道路工事が本格化してセグメント向け出荷が落ち着いたことが背景にある。一方、千葉の山砂（細骨材）の荷動きは東京湾岸向けを除きおしなべて低調。再生砕石（RC）も年度末の繁忙期を迎えたが、出荷は盛り上がらない。舗装の維持補修工事で路盤材を取り巻えない切削オーバーレイ工法の増加が一因。

よみがえれ・大阪万博
砕石・砂利プラントの総合商社
太陽の塔・内部公開
19日から48年ぶり
2025年 大阪万博
誘致をめざす
公共事業は
子孫への贈り物
www.m-marusho.com
株式会社 丸昌
本社：06-6767-3344 FAX-2772
支店：大阪 東京 四国 宇都宮

破砕機・粉砕機 一筋70年 創業1946年
■ロールブレーカー（商標登録）
製砂、骨材、石灰石、再生砕石など
納入実績1000台以上のダブルロールクラッシャー
粉が少なく、狙った粒度に粉砕
省メンテ、低騒音・低振動
ダストレス製砂・再生砕石・再生砂に最適！
■ファインジョークラッシャー（商標登録）
納入実績1700台以上
堅牢設計、省メンテナンス、低ランニングコスト
■ハンマークラッシャー
ロストルテーブル式（特許）
■2軸ロール解砕機
■シングルロールクラッシャー他
各種テスト機常設 破砕テスト・レンタル承ります。
株式会社 前川工業所
本社/工場 大阪府大東市新田中町7番2号
TEL.072-872-7321 FAX.072-873-5474
info@maekawa-kogyosho.com
http://www.maekawa-kogyosho.com

資源の有効活用を考えてみませんか？
移動式選別機で廃棄していた表土を選別することで原石を回収。
廃棄処分費を削減しつつ資源の有効活用により収益大幅UP!!
自走式 大容量選別機 ウォーリアシリーズ

自走式 クラッシャーシリーズ

自走式 細選別機 チーフテンシリーズ

原石回収 ▶ 原石の破砕 ▶ 製品化
デモ実演
カタログ・資料請求
のお問い合わせは
株式会社 リョーキ 環境機器事業部
URL:http://www.ryoki-japan.co.jp/
E-mail:kankyo@ryoki-japan.co.jp
本部営業所／TEL (082) 433-6201
大宮営業所／TEL (048) 641-0065

骨材事情

首都圏

骨材値上げ交渉に応じない取引先の出荷制限も

4月に向けて骨材値上げの交渉が正念場を迎えた。一部砕石製造業者や商社はユーザーから値上げの有額回答を得た模様だが、首都圏全体として骨材需給のひっ迫感が弱く値上げを頑なに拒む需要家もいる。首都圏の骨材業界を取材した。

千葉 山砂

千葉の山砂（細骨材）製造各社は、海・陸の輸送運賃への転嫁、採取用地の開発にかかる莫大な投資、プラント設備老朽化でかさむ修繕費、混合材料の砕砂等の仕入れ価格の上昇など生産・輸送両面で追い詰められ4月からの値上げ実現に向けて交渉姿勢を強めている。

ある製造業者は新年度にトン300円の値上げを強行する。「適正価格とは言えない細骨材の着値に対し、流通上で採算を合わせているのが実態。海・陸の輸送の健全化の必要性を言い続けているが、全く理解されない」。別の製造業者は昨年10月からの値上げ要請について3月末をめどに回答を得ていく方針で「要望額の満額ではなくとも一定額を上げられた実績を残したい」。

木更津の海運業界は東京、神奈川の生コン関連の協同組合に対し、運賃低迷で経営が成り立たずガット船がなくなる危機を警鐘する陳情活動を行う。今年、湾内を航行する約50隻のガット船のうち2割程度が建造から30年目の定期検査を迎える。木更津のガット船で船齢30年を越える船の運航実績はない。修理費を考慮して検査を受けずに廃船する船や、検査して延命させても修理にかかる稼働日数の減少が見込まれる。輸送能力低下を余儀なくされ、ここ数年木更津のガット船業界で維持してきた輸送量は年間1000万㌧を割り込む見通しだ。海運業者は「今は現状の輸送能力で間に合っているが、忙しくなると人も船も足りず高齢の船員や老朽船では繁忙期に対応できない。出荷が滞ってから運賃が上がっても遅い」と語気を強める。

東京・埼玉 砕石

東京の砕石製造業者は大手生コン業者から4月以降のトン200円の値上げを勝ち取り、年度の上期・下期または四半期ごとに段階的に上げることを確約した。「ユーザーには骨材の仕入先を変えてもらって構わないと強気の姿勢で交渉しており、全ての販売先から3月末までに返事をもらう」。在庫は常時数日分しかなく製品輸送ダンプは足りず、出荷できない状況を懸念する。「都内で骨材輸送に従事するダンプ運転手の年齢は50代以上が過半数を占めており、20～30代は1割にとどまる。今のうちに手立てを講じないと骨材流通が崩壊してしまう」

別の砕石製造業者は値上げを受け入れない取引先に対して「出荷数量を制限する。先方には値上げを認めてくれたら制限をなくすと伝えた」。

東京・三多摩の輸送・販売業者は東京や秩父の骨材製造業者から骨材の値上げ要請を受け、生コン工場と交渉する。「生コン出荷の低迷するエリアだけでなく、出荷が好調なエリアでも旧価格の契約分が多いことを理由に骨材値上げを渋られている」。大型の生コン工場を中心に品質管理上、従来のように使用する骨材の値上げに応じず安価な別の骨材に切り替えるのは難しいとみており粘り強く交渉を進める考えである。

東京の外かく環状道路や神奈川西部の新東名高速道路延伸、相模原のリニア中央新幹線の立坑工事など大型プロジェクトの着工が本格化して輸送はひっ迫気味だ。別の三多摩の輸送・販売業者は現場物（路盤材）や残土の運搬で引き合いが急増しており、秩父から府中方面への石灰石骨材輸送への協力も依頼されているが、全て断っている。

製造業者間の値上げ姿勢にも温度差があり、値上げに消極的な一部の製造業者のため、市況が底上げされず骨材の運賃水準が横ばいで推移し、残土運搬に車両が流出する事態を危惧する。

栃木 石灰石

神奈川と東京に事務所を有する骨材・資材商社は栃木の石灰石製造業者からの値上げを受けているが、生コン業者との交渉は難航する。「生コン組合内で情報交換しているのか取引先の各社は先行して値上げを受け入れたくないようだ」。栃木産石灰石骨材は品薄が続き工場でのダンプの積み込み制限はあるが、出荷が滞るまでには至っておらず、値上げに消極的な小規模な輸送・販売業者もいるという。「値上げできないと仕入価格の上昇は当社と輸送業者の負担になる。販売先に毎日顔を出し、値上げの必要性を訴え続ける」

52製品を認定

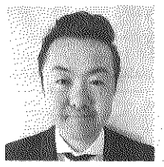
福岡県リサイクル認定

福岡県は第24回県認定リサイクル製品としてHC複合盛土材（才田砕石工業）など52製品を認定した。認定の有効期間は3年間。

認定製品の内訳は、再生加熱アスファルト混合物19製品、再生資源を含有した路盤材20製品、再生資源を含有したコンクリート2製品、再生資源を含有したインターロッキングブロック4製品、建設汚泥改良土2製品、土壌改良材3製品、埋戻用再生砂1製品、再生土砂1製品。

こつざい 交差点

新日鐵住金 厚板営業部主幹 小林正典



今回、コラム執筆を担当させて頂くこととなり、感謝申し上げます。砕石業に携わる皆さまに有益な情報を発信できるよう努めて参ります。

さて、新日鐵住金では約50年の耐摩耗鋼の製造実績があり、建機メーカーや特装車メーカーの製品素材として、これまで数多く採用されてきました。元々弊社の耐摩耗鋼は、旧新日鐵のウェルハードと旧住金のスミハードが存在していましたが、2012年の会社統合以降、両社の技術が融合し、新たなブランドとしてABREX®（アブレックス）が誕生しました。

メイド・イン・ジャパンの耐摩耗鋼ABREX®

その結果、表面硬度が普通鋼の3～6倍の硬さを備えた商品ラインアップが完成しました（プリネル硬さグレード400・450・500・600の4種類）。また、板厚も4～100㎜まで対応し、高靭性等の特殊機能、溶接などの加工性も兼ね備えています。このように、世界最高グレードの硬さを有するABREX®は、適用機器の鋼材摩耗を抑え、メンテナンスコスト削減のみならず、省力化や軽量化等にも寄与しています。

さらにABREX®は国内4つの製鉄所で年間4万㌧を超える製造をしており、技術的なサポートや在庫・加工拠点を含めて日本全国の皆さまに安定的に供給できるサプライチェーンを整えているメイド・イン・ジャパンの耐摩耗鋼です。

次回以降のコラムで、このABREX®の魅力を一つひとつ紹介したいと思います。

市況

建設物価調査会調べ

生コン

	2月上旬	前月比	前年同月比
札幌	13,300	変わらず	変わらず
仙台	13,800	〃	〃
東京	13,500	〃	200
名古屋	10,800	〃	変わらず
大阪	16,200	〃	2,000
広島	14,950	〃	変わらず
高松	12,300	〃	〃
福岡	9,450	〃	▲500
平均	13,038	〃	213

※21N、18cm、25㎜、㎥あたり。

砕石

	2月上旬	前月比	前年同月比
札幌	3,900	変わらず	100
仙台	4,000	〃	変わらず
東京	4,150	〃	〃
名古屋	3,350	〃	〃
大阪	3,900	〃	〃
広島	3,100	〃	〃
高松	3,500	〃	〃
福岡	2,800	〃	〃
平均	3,588	〃	13

※20～5㎜、㎥あたり。

砂

	2月上旬	前月比	前年同月比
札幌	4,600	変わらず	変わらず
仙台	3,500	〃	〃
東京	4,600	〃	〃
名古屋	4,000	〃	〃
大阪	4,000	〃	〃
広島	3,400	〃	〃
高松	3,600	〃	〃
福岡	3,050	〃	100
平均	3,844	〃	13

※荒目、洗い、㎥あたり。

再生アスファルト混合物

	2月上旬	前月比	前年同月比
札幌	11,200	変わらず	変わらず
仙台	10,500	〃	〃
東京	9,200	〃	▲500
名古屋	9,600	〃	▲300
大阪	9,400	〃	変わらず
広島	9,700	〃	▲100
高松	12,600	〃	変わらず
福岡	9,500	〃	▲300
平均	10,213	〃	▲150

※密粒度13（札幌、仙台は密粒度13F）、トンあたり

道路用6号

	2月上旬	前月比	前年同月比
札幌	4,850	変わらず	200
仙台	4,300	〃	変わらず
東京	5,000	〃	〃
名古屋	4,500	〃	〃
大阪	4,000	〃	〃
広島	3,200	〃	〃
高松	3,600	〃	〃
福岡	3,300	〃	〃
平均	4,094	〃	25

※13～5㎜、㎥あたり。東京は6区（台東・墨田・江東・荒川・葛飾・江戸川）

再生砕石

	2月上旬	前月比	前年同月比
札幌	2,400	変わらず	変わらず
仙台	2,400	〃	〃
東京	1,150	〃	〃
名古屋	1,900	〃	〃
大阪	1,050	〃	〃
広島	1,350	〃	〃
高松	1,900	〃	〃
福岡	2,100	〃	〃
平均	1,781	〃	〃

※40～0㎜。㎥あたり。